

学校コード

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部を設置

注1

届出

注2

東京家政大学 児童学部 初等教育学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人渡辺学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

教育支援センター
教育・研究支援課

職名・氏名

シヨキ サイトウ マイ
書記・齋藤 麻衣

電話番号

03-3961-1934

(夜間)

03-3961-5226

e-mail

kyogaku@tokyo-kasei.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

児童学部

<初等教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	52
7. その他全般的事項	54

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人渡辺学園

(2) 大学名

東京家政大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒173-8602

東京都板橋区加賀1丁目18番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(スガヤ サダヒコ) 菅谷 定彦 (平成28年4月)		
学長	(イノウエ シュンヤ) 井上 俊哉 (令和3年4月)		
学部長	(イワサキ ミチコ) 岩崎 美智子 (令和5年4月)		
学科長等	(ハンザワ ヨシヒロ) 半澤 嘉博 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) 一① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
児童学部 初等教育学科	教育学・保育学関係	4	85	0	342		
学士(教育学)		年	人	1	人		
				2年次 0人 3年次 1人 4年次 0人			

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) 一② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	85 () []				
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []				
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	79 () []				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.92倍		0.92倍		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を出す大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を出す大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) 一③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	79 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	79 [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数を記入してください。

(5) 一④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	79 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{79} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<児童学部 初等教育学科>

(1) - ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	手	
共通教育科目	コア科目	スタートアップセミナー-自主自律 基礎ゼミナール キャリアデザイン 小計(3科目)	1前 1前・後 2・3・4前・後 -	2 2 2 6	0 0 0 0	0 4 2 3	1 2 3 0	1 2 1 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	兼27 兼1 兼28
	人間教育科目	人間教育基礎科目	哲学入門 コミュニケーション論入門 子どもの世界 芸術論 心理学入門 ジェンダー論に学ぶ 家政学原論 生活経営学 多様な社会を生きる ライフデザイン入門 教養としての歴史 社会学入門 経済学入門 日本事情 日本国憲法	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							
		自然といのち	女性の健康 いのちと生活 生命科学入門 環境共生学 統計学入門	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2							兼3 兼1 兼1 兼1 兼1
		人間と学び	人間と学びA 人間と学びB 人間と学びC 人間と学びD 人間と学びE 人間と学びF 人間と学びG 人間と学びH 人間と学びI 人間と学びJ 人間と学びK 人間と学びL	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1				兼1 兼2 兼1 兼4 兼3 兼1 兼3 兼2 兼1 兼1 兼1	
		社会と文化	社会と文化A 社会と文化B 社会と文化C 社会と文化D 社会と文化E 社会と文化F 社会と文化G 社会と文化H 社会と文化I 社会と文化J 社会と文化K 社会と文化L 社会と文化M 社会と文化N 社会と文化O	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1				兼1 兼1 兼1 兼1 兼3 兼2 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼2 兼1	
		人間教育演習科目	自然といのちA 自然といのちB 自然といのちC 自然といのちD 自然といのちE 自然といのちF 自然といのちG 自然といのちH 小計(55科目)	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 -	2 2 2 2 2 2 2 2						兼2 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼65	
		科目間力育成実践	実践力養成セミナーA 実践力養成セミナーB キャリア形成支援講座 自主講座A 自主講座B 小計(5科目)	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 -	2 2 2 1 1 0	1 1 1 1 1 8	1 1 1 1 1 0	1 1 1 1 1 2				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼4
		言語文化科目	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語上級A 英語上級B ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	1前・後 1前・後 2前・後 2前・後 3前 3後 1前・後 2前・後 1前・後 2前・後 1前・後 2前・後	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							兼3 兼3 兼2 兼3 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼4 兼1

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	手		
共通教育科目	コア科目	スタートアップセミナー-自主自律 基礎ゼミナール キャリアデザイン 小計(3科目)	1前 1前・後 2・3・4前・後 -	2 2 2 6	0 0 0 0	0 4 2 3	1 2 3 0	1 2 1 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	兼29 兼1 兼37	
	人間教育科目	人間教育基礎科目	哲学 コミュニケーション論入門 子どもの世界 芸術論 心理学入門 ジェンダー論に学ぶ 家政学原論 生活経営学 多様な社会を生きる ライフデザイン入門 教養としての歴史 社会学入門 経済学 日本事情 日本国憲法 国際関係論	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2								兼1 兼1 兼1 兼4 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
		自然といのち	女性の健康 いのちと生活 生命科学 環境共生学 統計学入門	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2							兼3 兼1 兼1 兼1 兼1	
		人間と学び	人間と学びA 人間と学びB 人間と学びC 人間と学びD 人間と学びE 人間と学びF 人間と学びG 人間と学びH 人間と学びI 人間と学びJ 人間と学びK 人間と学びL	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1				兼1 兼2 兼1 兼4 兼3 兼1 兼3 兼2 兼1 兼1 兼1		
		社会と文化	社会と文化A 社会と文化B 社会と文化C 社会と文化D 社会と文化E 社会と文化F 社会と文化G 社会と文化H 社会と文化I 社会と文化J 社会と文化K 社会と文化L 社会と文化M 社会と文化N 社会と文化O	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1				兼1 兼1 兼1 兼1 兼3 兼2 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼2 兼1		
		人間教育演習科目	自然といのちA 自然といのちB 自然といのちC 自然といのちD 自然といのちE 自然といのちF 自然といのちG 自然といのちH 小計(56科目)	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 -	2 2 2 2 2 2 2 2						兼2 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼71		
		科目間力育成実践	実践力養成セミナーA 実践力養成セミナーB キャリア形成支援講座 自主講座A 自主講座B 小計(5科目)	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 -	2 2 2 1 1 0	1 1 1 1 1 8	1 1 1 1 1 0	1 1 1 1 1 2				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼4	
		言語文化科目	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語上級A 英語上級B ドイツ語初級 ドイツ語中級 ドイツ語上級 フランス語初級 フランス語中級 フランス語上級 中国語初級 中国語中級 中国語上級	1前・後 1前・後 2前・後 2前・後 3前 3後 1前・後 2前・後 2前・後 3前・後 3前・後 2前・後 3前・後 1前・後 2前・後 3前・後	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								兼3 兼3 兼3 兼3 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任		
			必修	選択	教授	准教授	講師	助教	助手	手			
共通教育科目	言語文化科目 コア語Ⅰ コア語Ⅱ 日本のごとと文化ⅠA 日本のごとと文化ⅠB 日本のごとと文化ⅡA 日本のごとと文化ⅡB 語学研修A 語学研修B 語学研修C 語学研修D 語学研修E 語学研修F 小計(24科目)	1前・後	1									兼4	
		2前・後	1									兼2	
		1前・後	2									兼1	
		1前・後	2									兼1	
		2前・後	2									兼1	
		2前・後	2									兼1	
		1・2・3・4前・後	4									兼1	
		1・2・3・4前・後	4									兼1	
		1・2・3・4前・後	4									兼1	
		1・2・3・4前・後	14									兼1	
		1・2・3・4前・後	14									兼1	
		1・2・3・4前・後	30									兼1	
	1・2・3・4前・後	30									兼1		
	—	12	80	0							兼25		
	情報科目 情報活用 データサイエンス基礎 小計(2科目)	1前・後	2						1			兼1	
		1前	2						1			兼2	
		—	2	0	0				1			兼3	
	体育関連科目 体育と健康 からだとスポーツA からだとスポーツB 自然とスポーツA 自然とスポーツB 小計(5科目)	2前・後	1									兼1	
		1前	1									兼4	
		1後	1			1						兼4	
		2前	1			1	1					兼1	
		2後	1			1	1					兼1	
	—	0	5	0	1	1					兼7		
	教職課程科目 教育原論 教職基礎論 教育心理学 教育制度論 小計(4科目)	1後	2		1							兼1	
1前		1		1							兼1		
1前		2									兼1		
3前		2									兼1		
—		0	7	0	2						兼2		
専門教育科目	教育の基礎 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 発達心理学 教育方法論 教育におけるICT活用 教育課程論 授業実践演習Ⅰ 授業実践演習Ⅱ 生徒・進路指導論 教育相談の理論と方法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教職実践演習(幼・小) 障害と教育 特別支援教育概論 特別支援教育研究 学級経営論 インターンシップ レクリエーション実践演習 小計(20科目)	3前	2		6	4	5						
		3後	2		6	4	5						
		4通	4		6	4	5						
		1前	2				1						
		2前	1				1						
		2後	1								兼1		
		2前	2		1								
		1後	2		3	3	2						
		3後	2		3	3	2						
		2後	2								兼1		
		1後	2								兼1		
		3後	1				1						
	2後	1								兼1			
	4後	2		2	2	1							
	1後	2		1									
	2前	1		1									
	3前	2		1									
	3後	1		1									
	3通	4		1									
	1前	2		1									
	—	14	24	0	6	4	5					兼4	
	教科の実践的指導(小)	国語科教育内容	1後	2		1							
		社会科教育内容	3前	2				1					
		算数科教育内容	3前	2		1							
理科教育内容		3前	2			1							
生活科教育内容		3前	2				1						
子どもの思考とプログラミング		1後	1				1						
家庭科教育内容		1後	1			1							
英語科教育内容		3前	2			1							
道徳教育の理論		2前	1		1								
音楽基礎Ⅰ		1前	2				1				兼6		
音楽基礎Ⅱ		1後	2				1				兼6		
造形基礎Ⅰ		1前	2		1								
造形基礎Ⅱ		1後	2		1								
体育基礎実技Ⅰ		2前	1		1						兼1		
体育基礎実技Ⅱ		2後	1		1						兼1		
国語科教育法		2後	2		1								
社会科教育法		3後	2				1						
算数科教育法		3後	2		1								
理科教育法		3後	2			1							
生活科教育法		3後	2				1						
音楽科教育法	2前	2				1							
図工科教育法	2前	2		1									
家庭科教育法	2後	2			1								
体育科教育法	2後	2			1								
英語科指導法	3後	2			1								
道徳教育法	2後	1		1									
教科の実践的指導(小)	国語科教育演習	4前	2		1								
	社会科教育演習	4後	2				1						
	算数科教育演習	4後	2		1								
	理科教育演習	4後	2			1							
	英語科教育演習	4前	2				1				兼1		
	教育実習事前事後指導(小)	3後	1			1							
	教育実習(小)	4通	4		1								
	小計(33科目)	—	25	36	0	5	4	4				兼9	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任		
			必修	選択	教授	准教授	講師	助教	助手	手			
共通教育科目	言語文化科目 コア語Ⅰ コア語Ⅱ 日本のごとと文化ⅠA 日本のごとと文化ⅠB 日本のごとと文化ⅡA 日本のごとと文化ⅡB 語学研修A 語学研修B 語学研修C 語学研修D 語学研修E 語学研修F 小計(32科目)	1前・後	2									兼3	
		2前・後	2									兼2	
		3前・後	2									兼2	
		1・2・3・4前・後	4									兼1	
		1・2・3・4前・後	4									兼1	
		1・2・3・4前・後	2									兼1	
		1・2・3・4前・後	2									兼1	
		1前・後	2									兼1	
		1前・後	2									兼1	
		2前・後	2									兼1	
		2前・後	2									兼1	
		1・2・3・4前・後	4									兼1	
	1・2・3・4前・後	4									兼1		
	1・2・3・4前・後	4									兼1		
	1・2・3・4前・後	14									兼1		
	1・2・3・4前・後	14									兼1		
	1・2・3・4前・後	30									兼1		
	1・2・3・4前・後	30									兼1		
	—	12	104	0								兼24	
	情報科目 情報活用 データサイエンス基礎 小計(2科目)	1前・後	2							1			兼1
		1前	2							1			兼2
		—	2	0	0					1			兼3
	体育関連科目 体育と健康 からだとスポーツA からだとスポーツB 自然とスポーツA 自然とスポーツB 小計(5科目)	2前・後	1										兼1
		1前	1										兼4
1後		1			1							兼4	
2前		1			1	1			1			兼1	
2後		1			1	1			1			兼1	
—	0	5	0	1	1			1			兼7		
教職課程科目 教育原論 教職基礎論 教育心理学 教育制度論 小計(4科目)	1後	2		1								兼1	
	1前	1		1								兼1	
	2前	2										兼1	
	3前	2										兼1	
	—	0	7	0	2							兼2	
専門教育科目	教育の基礎 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 発達心理学 教育方法論 教育におけるICT活用 教育課程論 授業実践演習Ⅰ 授業実践演習Ⅱ 生徒・進路指導論 教育相談の理論と方法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教職実践演習(幼・小) 障害と教育 特別支援教育概論 特別支援教育研究 学級経営論 インターンシップ レクリエーション実践演習 小計(20科目)	3前	2		6	4	5						
		3後	2		6	4	5						
		4通	4		6	4	5						
		1前	2				1						
		2前	1				1						
		2後	1									兼1	
		2前	2		1								
		1後	2		3	3	2						
		3後	2		3	3	2						
		2後	2									兼1	
		1後	2									兼1	
		3後	1				1						
	2後	1									兼1		
	4後	2		2	2	1							
	1後	2		1									
	2前	1		1									
	3前	2		1									
	3後	1		1									
	3通	4		1									
	1前	2		1									
	—	14	24	0	6	4	5					兼4	
	教科の実践的指導(小)	国語科教育内容	1後	2		1							
		社会科教育内容	3前	2				1					
		算数科教育内容	3前	2		1							
理科教育内容		3前	2			1							
生活科教育内容		3前	2				1						
子どもの思考とプログラミング		1後	1				1						
家庭科教育内容		1後	1			1							
英語科教育内容		3前	2			1							
道徳教育の理論		2前	1		1								
音楽基礎Ⅰ		1前	2				1					兼	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任			
			必修	選択	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門教育科目	保育の実践的指導(幼)	幼児と健康	1後	2	1							兼1		
		幼児と人間関係	2前	2	1	1								
		幼児と環境	2前	2			1							
		幼児と言葉	1後	2										
		幼児と表現A	2後	2	1									
		幼児と表現B	2後	2			1							
		保育指導論	2後	2			1							
		保育内容の指導法(健康)	4前	2									兼1	
		保育内容の指導法(人間関係)	4後	2			1							
		保育内容の指導法(環境)	4後	2				1						
		保育内容の指導法(言葉)	4前	2									兼1	
		保育内容の指導法(表現A)	3前	2									兼1	
		保育内容の指導法(表現B)	3後	2				1					兼1	
		幼児理解と教育相談	3前	2					1				兼1	
		教育実習事前事後指導(幼)	3前	1					1					
		教育実習(幼)	3後	4					1					
		小計(16科目)	—	0	33	0	2	1	2					兼5
		資格関連科目	資格関連科目	自然体験活動実習	2前	2	1							
学校経営と学校図書館	4前			2										
学校図書館メディアの構成	4後			2								兼1		
学習指導と学校図書館	4後			2								兼1		
読書と豊かな人間性	4前			2	1									
情報メディアの活用	4後			2									兼1	
小計(6科目)	—	0	12	0	2						兼1			
合計(173科目)		—	59	317	0	6	4	5	0	0	兼141			
卒業要件及び履修方法														
<p>【卒業要件】 本学に4年以上在学し、共通教育科目24単位以上、専門教育科目88単位以上を満たし、124単位以上を修得すること。</p> <p>【履修方法】 1. 共通教育科目は、「人間教育基礎科目」区分より4単位以上、「人間教育演習科目」区分より2単位以上修得する。 2. 専門教育科目は、「専門教育科目」区分より必修科目(59単位)・選択科目を合わせて88単位以上修得する。 (履修科目の登録の上限:44単位(年間))</p>														

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任			
			必修	選択	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門教育科目	保育の実践的指導(幼)	幼児と健康	1後	2	1							兼1		
		幼児と人間関係	2前	2	1	1								
		幼児と環境	2前	2			1							
		幼児と言葉	1後	2										
		幼児と表現A	2後	2	1									
		幼児と表現B	2後	2			1							
		保育指導論	2後	2			1							
		保育内容の指導法(健康)	4前	2									兼1	
		保育内容の指導法(人間関係)	4前	2			1							
		保育内容の指導法(環境)	4後	2				1						
		保育内容の指導法(言葉)	4後	2									兼1	
		保育内容の指導法(表現A)	3前	2									兼1	
		保育内容の指導法(表現B)	3後	2				1					兼1	
		幼児理解と教育相談	3前	2					1				兼1	
		教育実習事前事後指導(幼)	3前	1					1					
		教育実習(幼)	3後	2					1					
		小計(18科目)	—	0	31	0	2	2	1					兼5
		資格関連科目	資格関連科目	自然体験活動実習	2前	2	1							
学校経営と学校図書館	4前			2										
学校図書館メディアの構成	4後			2								兼1		
学習指導と学校図書館	4後			2								兼1		
読書と豊かな人間性	4前			2	1									
情報メディアの活用	4後			2									兼1	
小計(6科目)	—	0	12	0	2						兼1			
合計(182科目)		—	59	339	0	6	4	6	0	0	兼144			
卒業要件及び履修方法														
<p>【卒業要件】 本学に4年以上在学し、共通教育科目24単位以上、専門教育科目88単位以上を満たし、124単位以上を修得すること。</p> <p>【履修方法】 1. 共通教育科目は、「人間教育基礎科目」区分より4単位以上、「人間教育演習科目」区分より2単位以上修得する。 2. 専門教育科目は、「専門教育科目」区分より必修科目(59単位)・選択科目を合わせて88単位以上修得する。 (履修科目の登録の上限:44単位(年間))</p>														

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- 下記の理由により、「スタートアップセミナー自主自律」の専任教員等の配置を「教授2、講師1、兼任・兼任27」から「教授1、講師1、兼任・兼任29」に変更。
共通教育科目「スタートアップセミナー自主自律」は、多様な専門性の視点と学科を超えた学びを推進する目的で、毎年本学の全専任教員の中から担当を選出・変更する形態で運営している。
また、大学全体の学生数に応じて各学科の担当教員数を設定するため、年度により各学科における担当者数に変更が生じる。
- 他学部における副専攻制度の導入に伴い、専門性を高めることを目的に以下の授業科目の再編成・名称変更・新設を行った。
 - (1) 名称変更・授業科目の統合
「経済学入門」を「経済学」に変更
「哲学入門」を「哲学」に変更
「生命科学入門」を「生命科学」に変更
「ドイツ語Ⅰ」と「ドイツ語Ⅱ」を統合し、「ドイツ語初級」に変更
「フランス語Ⅰ」と「フランス語Ⅱ」を統合し、「フランス語初級」に変更
「中国語Ⅰ」と「中国語Ⅱ」を統合し、「中国語初級」に変更
「ロシア語Ⅰ」と「ロシア語Ⅱ」を統合し、「ロシア語初級」に変更
 - (2) 授業科目新設
以下の授業科目を新設。
「国際関係論」「ドイツ語中級」「ドイツ語上級」「フランス語中級」「フランス語上級」
「中国語中級」「中国語上級」「ロシア語中級」「ロシア語上級」
「短期ドイツ語研修」「短期フランス語研修」「短期中国語研修」「短期ロシア語研修」
- 「経済学」の兼任・兼任教員を、「兼1」から「兼2」に変更。
- 担当教員の定年退職及びオムニバス・共同科目における担当教員の専門性の高度化及び多様化のため、「人間と学び」を「教授1、兼任・兼任4」から「教授1、兼任・兼任8」に変更。
- オムニバス科目における担当教員の専門性の高度化及び多様化のため、「社会と文化」を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- クラス数変更、兼任・兼任教員の採用により、「英語ⅡA」を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」へ変更。
- 「教育心理学」の開講期を、「1前」から「2前」に変更。
- 准教授1名退職、専任教員1名昇任（講師から准教授）及び講師を2名採用したことにより、以下の科目の専任教員等の配置人数を変更。
 - (1) 准教授1名追加 「キャリアデザイン」
 - (2) 講師1名追加 「専門ゼミナールⅠ」「専門ゼミナールⅡ」「教職実践演習（幼・小）」「インターンシップ」
- 専任教員1名昇任（講師から准教授）により、以下の科目を「講師1」から「准教授1」に変更。
「発達心理学」「幼児と環境」「保育指導論」「保育内容の指導法（環境）」「教育実習事前事後指導（幼）」「教育実習（幼）」
- 体育教育を専門とする教員の退職及び新規採用により、
「自然とスポーツA」「自然とスポーツB」を「教授1、准教授1」から「教授1、講師1」へ変更。また、「体育科教育法」を「准教授1」から「講師1」に変更。
- 特別支援教育を専門とする教員の新規採用により、
「障害と教育」「特別支援教育研究」を「教授1」から「教授1、講師1」に変更、「特別支援教育概論」を「教授1」から「講師1」に変更。
- 兼任教員の採用により、「英語科教育内容」を「准教授1」から「准教授1、兼任・兼任1」に変更。
- 学科専任教員全体で担当時間数等を勘案して授業担当者を決定するため、
「基礎ゼミナール」を「教授3、准教授2、講師3」から「教授2、准教授3、講師3」に変更。
「授業実践演習Ⅰ」を「教授3、准教授3、講師2」から「教授3、准教授2、講師4」に変更。
「授業実践演習Ⅱ」を「教授3、准教授3、講師2」から「教授3、准教授3、講師4」に変更。

- (注) 2(1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
33 科目	140 科目	0 科目	173 科目	33 科目 [0]	149 科目 [9]	0 科目 [0]	182 科目 [9]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{173} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	・校地敷地は東京家政 大学短期大学部（必要 面積4,000㎡）と共用 ・運動場用地は東京家 政大学短期大学部及び 附属女子高等学校（収 容人数1,080人、面積 基準8,400㎡）と共用 ・その他は学寮、保育 所遊技場敷地			
	校舎敷地	28,152 ㎡	65,058 ㎡	15,639 ㎡	108,849 ㎡				
	運動場用地	- ㎡	54,130 ㎡	7,703 ㎡	61,833 ㎡				
	小 計	28,152 ㎡	119,188 ㎡	23,342 ㎡	170,682 ㎡				
	そ の 他	- ㎡	- ㎡	1,000 ㎡	1,000 ㎡				
	合 計	28,152 ㎡	119,188 ㎡	24,342 ㎡	171,682 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	40,353 ㎡ 40,379 ㎡ (40,353 ㎡) -(40,379 ㎡)	44,679 ㎡ 44,138 ㎡ (44,678 ㎡) -(44,638 ㎡)	1,856 ㎡ 1,871 ㎡ (1,856 ㎡) -(1,871 ㎡)	計 86,888 ㎡ (86,888 ㎡)	・東京家政大学短期大 学部（必要面積4,150 ㎡）と共用 ・教員入替による増減 (5)			
	講 義 室	56 室 57 室	14 室	277 室 274 室	7 室 (補助職員 一人)		0 室 1 室 (補助職員 一人)		
(3) 教 室 等	新設学部等の名称				室 数	・新規採用により 1室増(5)			
(4) 専任教員研究室	児童学部			39 38 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 524,273冊 [86,888]冊 542,981冊 [85,862]冊 学術雑誌 521種 [283種] 534種 [33種] 電子ジャーナル 11,305種 [9,655種] 41,033種 [9,342種] 視聴覚資料4,938 4,036点 図書・雑誌・視聴覚資 料は新規受入による増 (5)	
	児童学部	65,709 [8,017] 61,761 [7,695] (-60,469 - [7,577 -])	115 [15] (116 445 [15])	11 [11] (11 [11])	1,260 (1,140)	1654 1307 1654 (1307)	103 405 103 (105)		
	計	65,709 [8,017] (60,469 [7,577])	115 [15] (115 [15])	11 [11] (11 [11])	1,260 (1,140)	1654 1307 1654 (1307)	103 405 103 (105)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			・大学全体 ・東京家政大学短期大 学部と共用		
	6,733 ㎡	809 席		611,288 冊					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	4,366 ㎡	テニスコート 7 面 ゴルフバタ練習場 1ヶ所							
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・教員研究費と研究旅 費の区別はなく、教 授・准教授・講師とも に同額（助教は半 額）。 ・教員研究費と別に教 育研究維持費があ りその中の一部（170 千円/人）科別研究費 220,000円/人が教育研 究に支出できる（講師 以上）。(5) ・共同研究費は申請に 基づき、審査委員会 （委員長：学長）で審 査・配分し、協議会に 報告する。(5) ・設備購入費は学部全 体（開設前年度は家政 学部、開設年度は家政 学部）開設前年度は令 和4年度当初予算、開 設年度は令和5年度当 初予算を受けて修正。 (5) ・図書購入費には電子 ジャーナル・デー タベースの整備（運用コ スト含む）を含む。
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	315千円	315千円	図書購入費	17,419千円 -17,004千円	17,004千円	17,004千円	
	共 同 研 究 費 等	18,500千円	18,500千円	設備購入費	193,937千円 40,976千円	16,975千円 40,976千円	40,976千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次 1,370千円	第 2 年 次 1,150千円	第 3 年 次 1,150千円	第 4 年 次 1,150千円	第 5 年 次 - 千円	第 6 年 次 - 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	資産運用収入、雑収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
- ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京家政大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	3	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
家政学部	4	370	-	1,480	-	1.00	1.01	-	1.01	-	昭和24	東京都板橋区加賀1丁目18番1号						
児童学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和45	同上	令和5年度より学生募集停止					
児童学専攻	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和45	同上	令和5年度より学生募集停止					
育児支援専攻	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成14	同上	令和5年度より学生募集停止					
児童教育学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成21	同上	令和5年度より学生募集停止					
栄養学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和40	同上	令和4年度より学生募集停止					
栄養学専攻	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和40	同上	令和4年度より学生募集停止					
管理栄養士専攻	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和40	同上	令和4年度より学生募集停止					
服飾美術学科	4	175	0	700	学士(家政学)	0.98	-	0.98	-	-	昭和46	同上	令和5年度から編入学定員変更(5→0)					
環境教育学科	4	75	0	300	学士(家政学)	0.75	-	0.74	-	-	平成9	同上	令和5年度から編入学定員変更(5→0)					
造形表現学科	4	120	0	480	学士(家政学)	1.12	-	1.13	1.09	-	平成15	同上	令和5年度から編入学定員変更(1→0)					
栄養学部	4	280	3年次15	1,150	-	1.09	-	1.08	-	-	令和4	東京都板橋区加賀1丁目18番1号						
栄養学科	4	120	3年次5	490	学士(栄養学)	1.05	-	1.03	-	-	令和4	同上						
管理栄養学科	4	160	3年次10	660	学士(栄養学)	1.12	-	1.12	-	-	令和4	同上						
児童学部	4	295	3年次11	1,202	-	1.05	-	1.05	-	-	令和5	東京都板橋区加賀1丁目18番1号						
児童学科	4	210	3年次10	860	-	1.10	-	1.10	-	-	令和5	同上						
児童学専攻	4	105	3年次5	430	学士(児童学)	1.16	-	1.16	-	-	令和5	同上						
育児支援専攻	4	105	3年次5	430	学士(児童学)	1.04	-	1.04	-	-	令和5	同上						
初等教育学科	4	85	3年次1	342	学士(教育学)	0.92	-	0.92	-	-	令和5	同上						
人文学部	4	285	0	1,140	-	1.01	-	0.96	-	-	平成21	東京都板橋区加賀1丁目18番1号						
英語コミュニケーション学科	4	120	0	480	学士(文学)	0.88	-	0.87	-	-	昭和61	同上	令和5年度から編入学定員変更(5→0)					
心理カウンセリング学科	4	95	0	380	学士(文学)	1.15	-	1.02	1.01	-	平成21	同上	令和5年度から入学定員変更(80→95)編入学定員変更(5→0)					
教育福祉学科	4	70	0	280	学士(文学)	1.06	-	1.03	1.03	-	平成21	同上	令和5年度から編入学定員変更(5→0)					
健康科学部	4	180	0	720	-	1.10	-	1.08	1.05	-	平成30	埼玉県狭山市稲荷山2丁目15番地の1						
看護学科	4	100	0	400	学士(看護学)	1.09	-	1.08	1.06	-	平成26	同上						
リハビリテーション学科	4	80	0	320	-	1.10	-	1.08	1.04	-	平成30	同上						
作業療法学専攻	4	40	0	160	学士(作業療法学)	0.89	-	0.84	-	-	平成30	同上						
理学療法学専攻	4	40	0	160	学士(理学療法学)	1.32	-	1.31	1.27	-	平成30	同上						
子ども支援学部	4	120	0	480	-	0.87	-	0.87	-	-	平成26	埼玉県狭山市稲荷山2丁目15番地の1						
子ども支援学科	4	120	0	480	学士(子ども学)	0.87	-	0.87	-	-	平成26	同上						
大学全体	4	1,530	3年次26	6,172	-	-	-	-	-	-	-	-						

大学の名称		東京家政大学短期大学部							平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
保育科	年	人	年次人	人	短期大学士(保育)	倍		倍	倍	年度	年度	東京都板橋区加賀1丁目18番1号				
栄養科	2	120	-	240	短期大学士(栄養)	0.83	-	0.82	-	-	昭和37	同上				
大学全体	2	200	-	400	-	-	-	-	-	-	-	-				

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<児童学部 児童学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	半澤 嘉博 <令和5年4月> 博士(学術)
		スタートアップセミナー-自主自律 基礎ゼミナール 自主講座A 授業実践演習I 障害と教育
専	特任 教授	半澤 嘉博 <令和5年4月> 博士(学術)
		スタートアップセミナー-自主自律 基礎ゼミナール キャリアデザイン 自主講座A 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業論文 教育課程論 授業実践演習I 授業実践演習II 障害と教育 特別支援教育概論 特別支援教育研究 学級経営論
専	教授	阿部 藤子 <令和5年9月> 教育学修士
		キャリアデザイン 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業論文 授業実践演習I 教職実践演習(幼・小)* 国語科教育内容 国語科教育法 国語科教育演習 読書と豊かな人間性

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	半澤 嘉博 <令和5年4月> 博士(学術)
		スタートアップセミナー-自主自律 自主講座A 授業実践演習I 障害と教育
専	特任 教授	半澤 嘉博 <令和5年4月> 博士(学術)
		スタートアップセミナー-自主自律 キャリアデザイン 自主講座A 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業論文 教育課程論 授業実践演習I 授業実践演習II 障害と教育 特別支援教育研究 学級経営論
専	教授	阿部 藤子 <令和5年9月> 教育学修士
		キャリアデザイン 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業論文 教職実践演習(幼・小)* 国語科教育内容 国語科教育法 国語科教育演習 読書と豊かな人間性

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	石田 淳一 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		基礎ゼミナール キャリアデザイン 教職基礎論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 授業実践演習Ⅰ 授業実践演習Ⅱ 算数科教育内容 算数科教育法
専	特任教授	石田 淳一 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		基礎ゼミナール キャリアデザイン 教職基礎論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 授業実践演習Ⅰ 授業実践演習Ⅱ 教職実践演習(幼・小)* 算数科教育内容 算数科教育法 算数科教育演習
専	教授	木村 博人 ＜令和5年4月＞ 体育学修士
		実践力養成セミナーA 自然とスポーツA 自然とスポーツB 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 レクリエーション実践演習 体育基礎実技Ⅰ 体育基礎実技Ⅱ 幼児と健康 自然体験活動実習
専	教授	走井 洋一 ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		スタートアップセミナー自主自律 基礎ゼミナール 教育原論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 道徳教育の理論 道徳教育法

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	石田 淳一 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		基礎ゼミナール キャリアデザイン 教職基礎論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 授業実践演習Ⅰ 授業実践演習Ⅱ 算数科教育内容 算数科教育法
専	特任教授	石田 淳一 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		基礎ゼミナール キャリアデザイン 教職基礎論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 授業実践演習Ⅰ 授業実践演習Ⅱ 教職実践演習(幼・小)* 算数科教育内容 算数科教育法 算数科教育演習
専	教授	木村 博人 ＜令和5年4月＞ 体育学修士
		実践力養成セミナーA 自然とスポーツA 自然とスポーツB 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 レクリエーション実践演習 体育基礎実技Ⅰ 体育基礎実技Ⅱ 幼児と健康 自然体験活動実習
専	教授	走井 洋一 ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		基礎ゼミナール 教育原論 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 道徳教育の理論 道徳教育法

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	結城 孝雄 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※
	特任教授	人間と学びD* 人間と学びK 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 授業実践演習Ⅱ 造形基礎Ⅰ 造形基礎Ⅱ 図工科教育法 幼児と表現A
専	准教授	岩崎(照沼) 香織 ＜令和5年9月＞ 修士(学術)※
		専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 授業実践演習Ⅰ 授業実践演習Ⅱ インターンシップ 家庭科教育内容 家庭科教育法 教育実習事前事後指導(小) 教育実習(小) 幼児と人間関係 保育内容の指導法(人間関係) 介護体験活動の研究

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	結城 孝雄 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※
	特任教授	人間と学びD* 人間と学びK 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 授業実践演習Ⅱ 造形基礎Ⅰ 造形基礎Ⅱ 図工科教育法 幼児と表現A 授業実践演習Ⅰ
専	准教授	岩崎(照沼) 香織 ＜令和5年9月＞ 修士(学術)※
		専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 授業実践演習Ⅱ インターンシップ 家庭科教育内容 家庭科教育法 教育実習事前事後指導(小) 教育実習(小) 幼児と人間関係 保育内容の指導法(人間関係)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	酒井(栞原) 藤恵 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		基礎ゼミナール 社会と文化B 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 授業実践演習Ⅰ 授業実践演習Ⅱ 英語科教育内容 英語科指導法
専	准教授	関根 正弘 ＜令和5年4月＞ 教育学士
		基礎ゼミナール キャリアデザイン 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 授業実践演習Ⅰ 授業実践演習Ⅱ 教職実践演習(幼・小)* 理科教育内容 理科教育法 理科教育演習
専	准教授	長谷川 望 ＜令和5年9月＞ 修士(スポーツ健康科学)
		からだとスポーツB 自然とスポーツA 自然とスポーツB 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 教職実践演習(幼・小)* 体育科教育法

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	酒井(栞原) 藤恵 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		基礎ゼミナール 社会と文化B 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 授業実践演習Ⅱ 英語科教育内容 英語科指導法
専	准教授	関根 正弘 ＜令和5年4月＞ 教育学士
		基礎ゼミナール キャリアデザイン 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 授業実践演習Ⅰ 授業実践演習Ⅱ 教職実践演習(幼・小)* 理科教育内容 理科教育法 理科教育演習

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	天野 美穂子 ＜令和5年4月＞ 修士(国際コミュニケーション)※
		基礎ゼミナール 社会と文化N 情報活用 データサイエンス基礎* 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業論文 子どもの思考とプログラミング
専	講師	田村(山口) 恵美 ＜令和5年9月＞ 修士(教育学)※
		専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業論文 教育方法論 授業実践演習I 総合的な学習の時間の指導法 生活科教育内容 生活科教育法
専	講師	中尾 浩康 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		教養としての歴史 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業論文 授業実践演習II 社会科教育内容 社会科教育法 社会科教育演習
専	講師	宮 祐子 ＜令和5年4月＞ 修士(家政学)
		スタートアップセミナー自主自律 基礎ゼミナール 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業論文 授業実践演習II 音楽基礎I 音楽基礎II 音楽科教育法 幼児と表現B 保育内容の指導法(表現B)

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	天野 美穂子 ＜令和5年4月＞ 修士(国際コミュニケーション)※
		社会と文化N 情報活用 データサイエンス基礎* 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業論文 子どもの思考とプログラミング 授業実践演習I
専	講師	田村(山口) 恵美 ＜令和5年9月＞ 修士(教育学)※
		専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業論文 教育方法論 授業実践演習I 総合的な学習の時間の指導法 生活科教育内容 生活科教育法
専	講師	中尾 浩康 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		教養としての歴史 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業論文 授業実践演習II 社会科教育内容 社会科教育法 社会科教育演習
専	講師	宮 祐子 ＜令和5年4月＞ 修士(家政学)
		スタートアップセミナー自主自律 基礎ゼミナール 専門ゼミナールI 専門ゼミナールII 卒業論文 授業実践演習II 音楽基礎I 音楽基礎II 音楽科教育法 幼児と表現B 保育内容の指導法(表現B)

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	山田 恵美 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		基礎ゼミナール キャリアデザイン 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 発達心理学 授業実践演習Ⅰ 教職実践演習（幼・小）＊ 幼児と環境 保育指導論 保育内容の指導法（環境） 教育実習事前事後指導（幼） 教育実習（幼）

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山田 恵美 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		基礎ゼミナール キャリアデザイン 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文 発達心理学 授業実践演習Ⅰ 教職実践演習（幼・小）＊ 幼児と環境 保育指導論 保育内容の指導法（環境） 教育実習事前事後指導（幼） 教育実習（幼）
専	講師	今井 夏子 ＜令和5年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		基礎ゼミナール 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 自然とスポーツA 自然とスポーツB 卒業論文 授業実践演習Ⅰ 授業実践演習Ⅱ 教職実践演習（幼・小） 体育科教育法
専	講師	若井 公太郎 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		キャリアデザイン 基礎ゼミナール 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 特別支援教育概論 卒業論文 授業実践演習Ⅰ 授業実践演習Ⅱ 特別支援教育研究 インターンシップ 障害と教育 教職実践演習（幼・小） 介護体験活動の研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	是澤 優子 <令和5年4月> 博士(教育学) 子どもの世界
兼任	教授	戸田 雅美 <令和5年4月> 教育学修士※ スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	花輪 充 <令和5年4月> 修士(人間学) スタートアップセミナー自主自律 人間と学びE*
兼任	教授	細田 淳子 <令和5年4月> 芸術学士 人間と学びD*
兼任	教授	渡部 晃正 <令和5年4月> 教育学修士 スタートアップセミナー自主自律 教育制度論

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	金山 和彦 <令和5年4月> 修士(教育学)※ 人間と学びD*
兼任	教授	是澤 優子 <令和5年4月> 博士(教育学) 子どもの世界
兼任	教授	戸田 雅美 <令和5年4月> 教育学修士※ スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	花輪 充 <令和5年4月> 修士(人間学) 人間と学びE*
兼任	教授	細田 淳子 <令和5年4月> 博士(学術) 人間と学びD*
兼任	教授	渡部 晃正 <令和5年4月> 教育学修士 スタートアップセミナー自主自律 教育制度論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大西 淳之 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		自主講座B
兼任	教授	尾形 真規子 ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	加藤 和子 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		スタートアップセミナー自主自律 人間と学びG*
兼任	教授	澤田 めぐみ ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		スタートアップセミナー自主自律 女性の健康*
兼任	教授	大井 龍 ＜令和5年4月＞ 学術博士
		社会と文化E*

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大西 淳之 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		自主講座B
兼任	教授	尾形 真規子 ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	加藤 和子 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		スタートアップセミナー自主自律 人間と学びG*
兼任	教授	大井 龍 ＜令和5年4月＞ 学術博士
		スタートアップセミナー自主自律 社会と文化E*
兼任	教授	大塚 有里 ＜令和5年4月＞ 家政学修士
		ライフデザイン入門*
兼任	教授	倉 みゆき ＜令和5年4月＞ 家政学士
		スタートアップセミナー自主自律

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高水 伸子 ＜令和5年4月＞ 家政学修士
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	新聞 隆 ＜令和5年4月＞ 理学博士
		社会と文化E* データサイエンス基礎*
兼任	教授	有馬 十三郎 ＜令和5年4月＞ 芸術学修士
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	手嶋 尚人 ＜令和5年4月＞ 芸術学修士
		芸術論* 人間と学びG*

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	飯田 一郎 ＜令和5年4月＞ 博士(人間科学)
		情報活用
兼任	教授	新聞 隆 ＜令和5年4月＞ 理学博士
		社会と文化E* データサイエンス基礎*
兼任	教授	有馬 十三郎 ＜令和5年4月＞ 芸術学修士
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	手嶋 尚人 ＜令和5年4月＞ 芸術学修士
		芸術論* 人間と学びD* 人間と学びG*
兼任	教授	佐藤 加代子 ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		スタートアップセミナー自主自律 女性の健康*
兼任	教授	田中 寛 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		スタートアップセミナー自主自律

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	太田 洋 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		語学研修A 語学研修B 語学研修C 語学研修E 語学研修F 語学研修D
兼任	教授	谷田 恵司 ＜令和5年4月＞ 文学修士
		人間と学びC
兼任	教授	小池 新 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス基礎*
兼任	教授	中込 由美 ＜令和5年4月＞ 修士(老年学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	平川 俊功 ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	三浦(岡安) 正江 ＜令和5年4月＞ 博士(人間科学)
		キャリア形成支援講座

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	太田 洋 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		短期ドイツ語研修 短期フランス語研修 短期中国語研修 短期韓国語研修 語学研修A 語学研修B 語学研修C 語学研修E 語学研修F 語学研修D
兼任	教授	小池 新 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		スタートアップセミナー自主自律 データサイエンス基礎*
兼任	教授	三浦(岡安) 正江 ＜令和5年4月＞ 博士(人間科学)
		キャリア形成支援講座

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	大橋 憲広 ＜令和5年4月＞ 法学修士
		社会と文化L
兼担	教授	田中(長岡) 恵美子 ＜令和5年4月＞ 博士(社会福祉学)
		社会と文化F
兼担	教授	池森 隆虎 ＜令和6年4月＞ 修士(体育学)
		自然とスポーツA 自然とスポーツB
兼担	准教授	梅谷 千代子 ＜令和5年4月＞ 教育学士
		女性の健康* 社会と文化D 体育と健康
兼担	准教授	柿沼 芳枝 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		スタートアップセミナー-自主自律
兼担	准教授	佐藤 隆弘 ＜令和5年4月＞ 博士(人間科学)
		スタートアップセミナー-自主自律 人間と学びA 教育心理学

【令和5年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	大橋 憲広 ＜令和5年4月＞ 法学修士
		社会と文化L
兼担	教授	白木 賢信 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※
		スタートアップセミナー-自主自律
兼担	教授	田中(長岡) 恵美子 ＜令和5年4月＞ 博士(社会福祉学)
		社会と文化F
兼担	教授	池森 隆虎 ＜令和6年4月＞ 修士(体育学)
		自然とスポーツA 自然とスポーツB
兼担	准教授	梅谷 千代子 ＜令和5年4月＞ 教育学士
		女性の健康* 社会と文化D 体育と健康
兼担	准教授	柿沼 芳枝 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		スタートアップセミナー-自主自律
兼担	准教授	佐藤 隆弘 ＜令和5年4月＞ 博士(人間科学)
		スタートアップセミナー-自主自律 人間と学びA 教育心理学

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	特任 准教授	森田 浩章 <令和5年4月> 教育学士 人間と学びD*
兼任	准教授	梁川 悦美 <令和5年4月> 体育学修士 スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	宇和川 小百合 <令和5年4月> 博士(学術) スタートアップセミナー自主自律
兼任	特任 准教授	寺田 恭子 <令和5年4月> 家政学士 ライフデザイン入門*

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	松本 なるみ <令和5年4月> 修士(教育学) スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	梁川 悦美 <令和5年4月> 体育学修士 スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	宇和川 小百合 <令和5年4月> 博士(学術) スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	杉野 公子 <令和5年4月> 博士(学術) スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	井上 宮雄 <令和5年4月> 博士(工学) スタートアップセミナー自主自律

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	宮本 康司 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	宮本 真帆 ＜令和5年4月＞ 芸術学士
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	二川 正浩 ＜令和6年9月＞ 教育学修士
		生徒・進路指導論
兼任	准教授	鈴木 繁幸 ＜令和5年4月＞ 外国語としての英語修士
		日本事情
兼任	准教授	田頭 憲二 ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	並木 有希 ＜令和5年4月＞ 博士(英語学)
		社会と文化 A

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮本 康司 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	宮本 真帆 ＜令和5年4月＞ 芸術学士
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	二川 正浩 ＜令和6年9月＞ 教育学修士
		生徒・進路指導論
兼任	准教授	宮 聡子 ＜令和5年4月＞ 博士(海洋科学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	鈴木 繁幸 ＜令和5年4月＞ 外国語としての英語修士
		スタートアップセミナー自主自律 日本事情
兼任	准教授	並木 有希 ＜令和5年4月＞ 博士(英語学)
		スタートアップセミナー自主自律 社会と文化 A

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	根本 貴行 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)※
		スタートアップセミナー自主自律
兼担	准教授	吉野 康子 ＜令和5年4月＞ 国際学修士(英語教育)
		スタートアップセミナー自主自律
兼担	准教授	山崎 洋子 ＜令和5年4月＞ 博士(人間科学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼担	講師	前田 和代 ＜令和5年4月＞ 家政学修士
		スタートアップセミナー自主自律

【令和5年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	石井 国雄 ＜令和5年4月＞ 博士(心理学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼担	准教授	沢田 真喜子 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼担	准教授	五十嵐 淳子 ＜令和5年4月＞ 博士(英語学)
		国際関係論
兼担	准教授	前田 和代 ＜令和5年4月＞ 家政学修士
		スタートアップセミナー自主自律

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金子 真希 <令和5年4月> 学士(教育学) スタートアップセミナー自主自律 人間と学びG*
兼任	講師	鈴木 由子 <令和5年4月> 学士(家政学) スタートアップセミナー自主自律
兼任	講師	大塚 彩美 <令和5年4月> 博士(環境学) スタートアップセミナー自主自律 社会と文化E*
兼任	講師	大木(齊藤) 敦子 <令和5年4月> 学士(家政学) スタートアップセミナー自主自律
兼任	講師	齊藤 和貴 <令和5年4月> 博士(人間学) 人間と学びI

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	内堀 佳子 <令和5年4月> 修士(農学) スタートアップセミナー自主自律
兼任	講師	金子 真希 <令和5年4月> 学士(教育学) 人間と学びG*
兼任	講師	大塚 彩美 <令和5年4月> 博士(環境学) 社会と文化E*
兼任	講師	片田 真一 <令和5年4月> 博士(理学) スタートアップセミナー自主自律
兼任	講師	大木(齊藤) 敦子 <令和5年4月> 学士(家政学) スタートアップセミナー自主自律

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平野(綾城) 真理 ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		人間と学びL
兼任	講師	岩治 まとか ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	講師	酒井 亮征 ＜令和6年4月＞ 修士(応用言語学)
		英語ⅡA 英語上級A
兼任	講師	アラン・エリー・ベ ＜令和5年4月＞ 博士(社会デザイン)
		英語ⅠA 英語上級B
兼任	講師	萱原 真希 ＜令和6年9月＞ 修士(教育学)
		英語ⅡB
兼任	助教	岡本 恵 ＜令和5年4月＞ 修士(家政学)
		人間と学びD*
兼任	講師	佐藤 康富 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		自然といのちB

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平野(綾城) 真理 ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		人間と学びL
兼任	講師	岩治 まとか ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	講師	佐藤 康富 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		自然といのちB

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西海(藤澤) 聡子 ＜令和7年9月＞ 修士(音楽)
		保育内容の指導法(表現B)
兼任	講師	鵜殿 篤 ＜令和6年9月＞ 修士(教育学)
		教育におけるICT活用
兼任	講師	塩入 輝恵 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		ライフデザイン入門*
兼任	講師	野上 遊夏 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		スタートアップセミナー-自主自律
兼任	講師	内野 美恵 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		人間と学びB*
兼任	講師	田中 克己 ＜令和5年4月＞ 芸術学修士
		音楽基礎Ⅰ 音楽基礎Ⅱ

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西海(藤澤) 聡子 ＜令和7年9月＞ 修士(音楽)
		保育内容の指導法(表現B)
兼任	講師	鵜殿 篤 ＜令和6年9月＞ 修士(教育学)
		教育におけるICT活用
兼任	講師	塩入 輝恵 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		ライフデザイン入門*
兼任	講師	野上 遊夏 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		スタートアップセミナー-自主自律
兼任	教授	内野 美恵 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		人間と学びB*
兼任	講師	牛頭 真也 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		音楽基礎Ⅰ 音楽基礎Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩川 みやび ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		音楽基礎Ⅰ 音楽基礎Ⅱ
兼任	講師	市川 雅巳 ＜令和5年4月＞ 修士(音楽)
		音楽基礎Ⅰ 音楽基礎Ⅱ
兼任	講師	菊田 知子 ＜令和5年4月＞ 修士(家政学)
		音楽基礎Ⅰ 音楽基礎Ⅱ
兼任	講師	尾見 敦子 ＜令和5年4月＞ 教育学修士※
		音楽基礎Ⅰ 音楽基礎Ⅱ
兼任	講師	山本 幸正 ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		音楽基礎Ⅰ 音楽基礎Ⅱ
兼任	講師	山田 美絵子 ＜令和6年4月＞ 体育学修士
		体育基礎実技Ⅰ 体育基礎実技Ⅱ
兼任	講師	鶴巻 景子 ＜令和8年4月＞ 教育学士
		学校経営と学校図書館 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館 情報メディアの活用

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩川 みやび ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		音楽基礎Ⅰ 音楽基礎Ⅱ
兼任	講師	市川 雅巳 ＜令和5年4月＞ 修士(音楽)
		音楽基礎Ⅰ 音楽基礎Ⅱ
兼任	講師	菊田 知子 ＜令和5年4月＞ 修士(家政学)
		音楽基礎Ⅰ 音楽基礎Ⅱ
兼任	講師	尾見 敦子 ＜令和5年4月＞ 教育学修士※
		音楽基礎Ⅰ 音楽基礎Ⅱ
兼任	講師	山本 幸正 ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		音楽基礎Ⅰ 音楽基礎Ⅱ
兼任	講師	山田 美絵子 ＜令和6年4月＞ 体育学修士
		体育基礎実技Ⅰ 体育基礎実技Ⅱ
兼任	講師	鶴巻 景子 ＜令和8年4月＞ 教育学士
		学校経営と学校図書館 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館 情報メディアの活用

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	上床 美嗣 ＜令和6年9月＞ 教育学学士
		特別活動の指導法 教育実習(小)
兼任	講師	橋本 千鶴 ＜令和5年9月＞ 修士(カウンセリング)
		幼児と言葉 保育内容の指導法(言葉)
兼任	講師	田代 葉子 ＜令和8年4月＞ 文学修士
		英語科教育演習
兼任	講師	二本柳 聡美 ＜令和6年4月＞ 学士(言語・地域文化)
		キャリアデザイン
兼任	講師	土橋 久美子 ＜令和8年4月＞ 修士(人間学)
		保育内容の指導法(健康)
兼任	講師	犬飼 亜子 ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		幼児理解と教育相談

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	上床 美嗣 ＜令和6年9月＞ 教育学学士
		特別活動の指導法 教育実習(小)
兼任	講師	橋本 千鶴 ＜令和5年9月＞ 修士(カウンセリング)
		幼児と言葉 保育内容の指導法(言葉)
兼任	講師	田代 葉子 ＜令和7年4月＞ 文学修士
		英語科教育内容 英語科指導法 英語科教育演習
兼任	講師	二本柳 聡美 ＜令和6年4月＞ 学士(言語・地域文化)
		キャリアデザイン
兼任	講師	土橋 久美子 ＜令和8年4月＞ 修士(人間学)
		保育内容の指導法(健康)
兼任	講師	犬飼 亜子 ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		幼児理解と教育相談

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中村 薫 ＜令和5年9月＞ 修士(家政学)
		教育相談の理論と方法
兼任	講師	松澤 綾子 ＜令和5年4月＞ 修士(家政学)
		人間と学びD* 保育内容の指導法(表現A)
兼任	講師	峯尾 幸之介 ＜令和5年4月＞ 修士(国際コミュニケーション学)
		哲学入門
兼任	講師	今井 信治 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		コミュニケーション論入門
兼任	講師	吉野 裕之 ＜令和5年4月＞ 農学修士
		芸術論* 社会と文化K
兼任	講師	曾根 博美 ＜令和5年4月＞ 修士(臨床心理・カウンセリング)
		芸術論* 社会と文化M*

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中村 薫 ＜令和5年9月＞ 修士(家政学)
		教育相談の理論と方法
兼任	講師	松澤 綾子 ＜令和5年4月＞ 修士(家政学)
		人間と学びD* 保育内容の指導法(表現A)
兼任	講師	峯尾 幸之介 ＜令和5年4月＞ 修士(国際コミュニケーション学)
		哲学
兼任	講師	今井 信治 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		コミュニケーション論入門
兼任	講師	吉野 裕之 ＜令和5年4月＞ 農学修士
		芸術論* 社会と文化K
兼任	講師	曾根 博美 ＜令和5年4月＞ 修士(臨床心理・カウンセリング)
		芸術論* 社会と文化M*

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	加藤 浩子 ＜令和5年4月＞ 文学修士
		芸術論*
兼任	講師	荻島 大凱 ＜令和5年4月＞ 修士(人間科学)
		心理学入門
兼任	講師	郭 麗娟 ＜令和5年4月＞ 博士(社会科学)
		ジェンダー論に学ぶ
兼任	講師	野崎 有以 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		家政学原論

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池宮 中夫 ＜令和5年4月＞ 芸術学士
		芸術論*
兼任	講師	荻島 大凱 ＜令和5年4月＞ 修士(人間科学)
		心理学入門
兼任	講師	青木 由香 ＜令和5年4月＞ 修士(社会科学)
		ジェンダー論に学ぶ
兼任	講師	野崎 有以 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		家政学原論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山本 咲子 ＜令和5年4月＞ 修士(社会科学)
		生活経営学
兼任	講師	瀬山 紀子 ＜令和5年4月＞ 修士(社会科学)
		多様な社会を生きる 社会と文化C
兼任	講師	李 侖姫 ＜令和5年4月＞ 博士(社会学)
		社会学入門
兼任	講師	江本 伸哉 ＜令和5年4月＞ 修士(都市ビジネス)
		経済学入門

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山本 咲子 ＜令和5年4月＞ 修士(社会科学)
		生活経営学
兼任	講師	渡邊 さゆり ＜令和5年4月＞ 神学修士
		多様な社会を生きる 社会と文化C
兼任	講師	李 侖姫 ＜令和5年4月＞ 博士(社会学)
		社会学入門
兼任	講師	呉 東錫 ＜令和5年4月＞ 博士(商学)
		経済学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹嶋 千穂 <令和5年4月> 修士(社会科学・学術)
		日本国憲法
兼任	講師	太田 大介 <令和5年4月> 博士(医学)
		女性の健康*
兼任	講師	林 恵子 <令和5年4月> 理学博士(動物学)
		いのちと生活
兼任	講師	廣田 恵子 <令和5年4月> 博士(農学)
		生命科学入門
兼任	講師	布施 元 <令和5年4月> 博士(学術)
		環境共生学
兼任	講師	上田 卓司 <令和5年4月> 修士(文学)
		統計学入門

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	カ シュウコウ <令和5年4月> 博士(経済学)
		経済学
兼任	講師	竹嶋 千穂 <令和5年4月> 修士(社会科学・学術)
		日本国憲法
兼任	講師	太田 大介 <令和5年4月> 博士(医学)
		女性の健康*
兼任	講師	林 恵子 <令和5年4月> 理学博士(動物学)
		いのちと生活
兼任	講師	廣田 恵子 <令和5年4月> 博士(農学)
		生命科学
兼任	講師	布施 元 <令和5年4月> 博士(学術)
		環境共生学
兼任	講師	上田 卓司 <令和5年4月> 修士(文学)
		統計学入門

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	相澤 菜穂子 ＜令和5年4月＞ 学士(家政学)
		人間と学びB*
兼任	講師	鴨志田 加奈 ＜令和5年4月＞ 家政学修士
		人間と学びE*

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	相澤 菜穂子 ＜令和5年4月＞ 学士(家政学)
		人間と学びB*
兼任	講師	向井 秀忠 ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		人間と学びC
兼任	講師	居上 真人 ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		人間と学びD*
兼任	講師	伊藤 史子 ＜令和5年4月＞ 修士(美術)
		人間と学びD*
兼任	講師	栗山 由加 ＜令和5年4月＞
		人間と学びD*
兼任	講師	濱口 由美 ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		人間と学びD*
兼任	講師	鴨志田 加奈 ＜令和5年4月＞ 家政学修士
		人間と学びE*

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉村 温子 ＜令和5年4月＞ 学士(文学)
		人間と学びE*
兼任	講師	渡邊 重人 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		人間と学びF
兼任	講師	村越 啓子 ＜令和5年4月＞ 人文学士
		人間と学びH
兼任	講師	柳 匡裕 ＜令和5年4月＞ 専門学校
		人間と学びH
兼任	講師	中山 純一 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		人間と学びJ

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉村 温子 ＜令和5年4月＞ 学士(文学)
		人間と学びE*
兼任	講師	渡邊 重人 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		人間と学びF
兼任	講師	村越 啓子 ＜令和5年4月＞ 人文学士
		人間と学びH
兼任	講師	伊藤 ホサナ ＜令和5年4月＞ 短期大学士
		人間と学びH
兼任	講師	亀田 秀子 ＜令和5年4月＞ 修士(児童学), 修士(社会福祉学)
		人間と学びI
兼任	講師	中山 純一 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		人間と学びJ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小島 直子 ＜令和5年4月＞ 学士(社会福祉)
		社会と文化 F
兼任	講師	清水 聡 ＜令和5年4月＞ 博士(政治学)
		社会と文化 G 社会と文化 O
兼任	講師	中島 和歌子 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		社会と文化 H
兼任	講師	高橋 孝代 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		社会と文化 I
兼任	講師	小谷 量子 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		社会と文化 J
兼任	講師	湯山 玲子 ＜令和5年4月＞ 学士(法学)
		社会と文化 M *

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小島 直子 ＜令和5年4月＞ 学士(社会福祉)
		社会と文化 F
兼任	講師	清水 聡 ＜令和5年4月＞ 博士(政治学)
		社会と文化 G 社会と文化 O
兼任	講師	中島 和歌子 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		社会と文化 H
兼任	講師	高橋 孝代 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		社会と文化 I
兼任	講師	小谷 量子 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		社会と文化 J
兼任	講師	湯山 玲子 ＜令和5年4月＞ 学士(法学)
		社会と文化 M *
兼任	講師	吉岡 洋美 ＜令和5年4月＞ 美術学士
		社会と文化 M *

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	奈良 洋希 <令和5年4月> 博士(工学)
		自然といのちA*
兼任	講師	向山 大吉 <令和5年4月> 博士(工学)
		自然といのちA*
兼任	講師	関口 雄祐 <令和5年4月> 博士(理学)
		自然といのちC
兼任	講師	小関 勇次 <令和5年4月> 修士(教育学)
		自然といのちD
兼任	講師	戸金 大 <令和5年4月> 博士(農学)
		自然といのちE
兼任	講師	中尾 暁 <令和5年4月> 修士(学術)
		自然といのちF

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	奈良 洋希 <令和5年4月> 博士(工学)
		自然といのちA*
兼任	講師	向山 大吉 <令和5年4月> 博士(工学)
		自然といのちA*
兼任	講師	関口 雄祐 <令和5年4月> 博士(理学)
		自然といのちC
兼任	講師	小関 勇次 <令和5年4月> 修士(教育学)
		自然といのちD
兼任	講師	山科 千里 <令和5年4月> 博士(地域研究)
		自然といのちE
兼任	講師	中尾 暁 <令和5年4月> 修士(学術)
		自然といのちF

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	村上 祐子 ＜令和5年4月＞ 博士(哲学)
		自然といのちG
兼任	講師	片岡 雅知 ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		自然といのちH
兼任	講師	北原 澄高 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		実践力養成セミナーA
兼任	講師	松瀬 理保 ＜令和5年4月＞ 社会学修士
		実践力養成セミナーB
兼任	講師	池田 仁 ＜令和5年4月＞ 修士(体育科学)
		からだとスポーツA からだとスポーツB
兼任	講師	佐々木 圭 ＜令和5年4月＞ 体育科学修士
		からだとスポーツA からだとスポーツB
兼任	講師	佐藤 典子 ＜令和5年4月＞ 体育学士
		からだとスポーツA からだとスポーツB

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	村上 祐子 ＜令和5年4月＞ 博士(哲学)
		自然といのちG
兼任	講師	片岡 雅知 ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		自然といのちH
兼任	講師	北原 澄高 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		実践力養成セミナーA
兼任	講師	松瀬 理保 ＜令和5年4月＞ 社会学修士
		実践力養成セミナーB
兼任	講師	池田 仁 ＜令和5年4月＞ 修士(体育科学)
		からだとスポーツA からだとスポーツB
兼任	講師	佐々木 圭 ＜令和5年4月＞ 体育科学修士
		からだとスポーツA からだとスポーツB
兼任	講師	佐藤 典子 ＜令和5年4月＞ 体育学士
		からだとスポーツA からだとスポーツB

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	村上 光輝 ＜令和5年4月＞ 修士(ｽﾎｰﾙ健康科学)
		からだとスポーツA
兼任	講師	山崎 源太 ＜令和5年9月＞ 修士(スポーツ科学)
		からだとスポーツB
兼任	講師	栗田 るみ子 ＜令和5年4月＞ 教育学修士(教育工学)
		情報活用
兼任	講師	岩佐 靖夫 ＜令和5年4月＞ 修士(人文)
		日本のことばと文化ⅠA 日本のことばと文化ⅡA
兼任	講師	藤原 恵美 ＜令和5年4月＞ 修士(日本語教育学)
		日本のことばと文化ⅠB 日本のことばと文化ⅡB
兼任	講師	クリスティアン・M・G・シュテーター ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	村上 光輝 ＜令和5年4月＞ 修士(ｽﾎｰﾙ健康科学)
		からだとスポーツA
兼任	講師	山崎 源太 ＜令和5年9月＞ 修士(スポーツ科学)
		からだとスポーツB
兼任	講師	岩佐 靖夫 ＜令和6年4月＞ 修士(人文)
		日本のことばと文化ⅡA
兼任	講師	藤原 恵美 ＜令和5年4月＞ 修士(日本語教育学)
		日本のことばと文化ⅠA 日本のことばと文化ⅠB 日本のことばと文化ⅡB
兼任	講師	クリスティアン・M・G・シュテーター ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		ドイツ語初級 ドイツ語中級 ドイツ語上級

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹下 和亮 ＜令和6年4月＞ 修士(学術)
		フランス語Ⅱ
兼任	講師	渡辺 昭太 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	池 鳳花 ＜令和5年4月＞ 修士(朝鮮語学)
		コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ
兼任	講師	洪 順子 ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ
兼任	講師	沼田 憲治 ＜令和5年4月＞ 文学修士
		フランス語Ⅰ
兼任	講師	木村 佳代子 ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		中国語Ⅰ

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹下 和亮 ＜令和6年4月＞ 修士(学術)
		フランス語中級 フランス語上級
兼任	講師	渡辺 昭太 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		中国語初級 中国語中級 中国語上級
兼任	講師	池 鳳花 ＜令和5年4月＞ 修士(朝鮮語学)
		コリア語初級 コリア語中級 コリア語上級
兼任	講師	洪 順子 ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		コリア語初級 コリア語中級 コリア語上級
兼任	講師	沼田 憲治 ＜令和5年4月＞ 文学修士
		フランス語初級
兼任	講師	木村 佳代子 ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		中国語初級

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	張 佳恵 ＜令和5年4月＞ 修士(言語学)
		中国語 I
兼任	講師	劉 時珍 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		中国語 I
兼任	講師	金 英周 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		コリア語 I
兼任	講師	蔡 熙鏡 ＜令和5年4月＞ 修士(言語学)
		コリア語 I
兼任	講師	アルネル・F・ヴェラ・モラレス ＜令和5年4月＞ 博士(応用言語学)
		英語 I A
兼任	講師	ペイチュン・A・ハン ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		英語 I A

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	張 佳恵 ＜令和5年4月＞ 修士(言語学)
		中国語初級
兼任	講師	劉 時珍 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		中国語初級
兼任	講師	蔡 熙鏡 ＜令和5年4月＞ 修士(言語学)
		コリア語初級
兼任	講師	アルネル・F・ヴェラ・モラレス ＜令和5年4月＞ 博士(応用言語学)
		英語 I A
兼任	講師	トニー・コール ＜令和5年4月＞ 博士(Mathematics)
		英語 I A 英語 II A 英語上級 A 英語上級 B

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小林 忠好 ＜令和5年9月＞ 修士(文学)
		英語 I B
兼任	講師	三輪 緑 ＜令和5年9月＞ 文学修士
		英語 I B
兼任	講師	山口 敦子 ＜令和5年9月＞ 修士(応用言語学 TESOL)
		英語 I B
兼任	講師	アンドリュー・ジェームス・バーンズ ＜令和6年4月＞ 修士(国際コミュニケーション学)
		英語 II B

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	リン・ジェウ・ファム ＜令和5年4月＞ 修士(TESOL)
		英語 I A
兼任	講師	中村 明美 ＜令和6年9月＞ 修士(文学)
		英語 II A
兼任	講師	小林 忠好 ＜令和5年9月＞ 修士(文学)
		英語 I B
兼任	講師	三輪 緑 ＜令和5年9月＞ 文学修士
		英語 I B
兼任	講師	萩原 一郎 ＜令和6年9月＞ 修士(文学)
		英語 II B
兼任	講師	アンドリュー・ジェームス・バーンズ ＜令和6年4月＞ 修士(国際コミュニケーション学)
		英語 II A

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渋沢 優介 <令和6年9月> 修士(英語コミュニケーション)
		英語ⅡB
兼任	講師	山田 麻里子 <令和6年9月> 修士(教育)
		英語ⅡB

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渋沢 優介 <令和6年9月> 修士(英語コミュニケーション)
		英語ⅡB
兼任	講師	児玉 知美 <令和5年9月> 修士(文学)
		英語ⅡB

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

・長谷川望准教授	退職、若井広太郎講師、今江夏子講師	新規採用。
・走井洋一教授	「スタートアップセミナー自主自律」	の担当削除。
・半澤嘉博教授	持ち時数などを勘案して担当を振り分けているため、「基礎ゼミナール」	担当なし。
・阿部藤子教授	特別支援教育を専門とする専任教員を確保したため、「特別支援教育概論」	担当なし。
・結城孝雄教授	持ち時数などを勘案して担当を振り分けているため、「授業実践演習Ⅰ」	担当追加。
・岩崎香織准教授	持ち時数などを勘案して担当を振り分けているため、「授業実践演習Ⅰ」	担当なし。
・酒井藤恵准教授	新規採用の先生が担当するため、「介護体験活動の研究」	担当なし。
・天野美穂子講師	持ち時数などを勘案して担当を振り分けているため、「授業実践演習Ⅰ」	担当なし。
・山田恵美准教授	持ち時数などを勘案して担当を振り分けているため、「基礎ゼミナール」	担当なし。
	持ち時数などを勘案して担当を振り分けているため、「授業実践演習Ⅰ」	担当追加。
	昇任により、職名を准教授へ変更。	

* 共通教育科目「スタートアップセミナー自主自律」は、多様な専門性の視点と学科を超えた学びを推進する目的で、毎年本学の全専任教員の中から担当を選出・変更する形態で運営している。また、大学全体の学生数に応じて各学科の担当教員数を設定するため、年度により各学科における担当者数に変更が生じる。

- (注)
- ・ 変更内容を簡易書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力量科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力量科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
6 名	3 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	4	5	0	15	0	1	0	3	0	4	0
(6)	(4)	(5)	(0)	(15)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
6	4	6	0	16	0	6	4	6	0	16	0
[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B)の教員のうち、定年を延長して採用している教員数)	完成年度時(上記(C)の教員のうち、定年を延長して採用する教員数)
70 歳	0 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{15} = \boxed{106.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	長谷川 望	R5.3	選択	からだとスポーツB	②	R5.3 異動元の本学既設学部退職のため 就任辞退（5）			
				選択	自然とスポーツA	①				
				選択	自然とスポーツB	①				
				必修	専門ゼミナールⅠ	①				
				必修	専門ゼミナールⅡ	①				
				必修	卒業論文	①				
				選択	教職実践演習（幼・小）	①				
選択	体育科教育法	①								
合計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
1	人	必修	3	科目	必修	3	必修	0	必修	0
		選択	5	科目	選択	4	選択	1	選択	0
		自由	0	科目	自由	0	自由	0	自由	0
		計	8	科目	計	7	計	1	計	0

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後には辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
							該当なし	
合計（F）						後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	必修	0
		選択	0	科目	選択	0	選択	0
		自由	0	科目	自由	0	自由	0
		計	0	科目	計	0	計	0

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）			後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	3	科目	必修	3	必修	0
		選択	5	科目	選択	4	選択	1
		自由	0	科目	自由	0	自由	0
		計	8	科目	計	7	計	1

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{15} = 6.66\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
						該当なし	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>年度開始前に後任の採用手続きが済んでいるため学生の履修等への影響はなし。科目担当者はシラバス等で周知。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)(5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<児童学部 初等教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学における授業改善、教員の資質の維持向上のための組織的取り組みは、平成15年度の授業評価・授業改善プロジェクトを嚆矢とする。その後、平成16、17年度にはFD委員会準備室、平成18年度から総合教育開発センター・高等教育開発支援部門、平成21年度からFD委員会がその役割を担ってきた。そして、平成26年度には、FD委員会を発展的に継承し、全学の教育活動の改善に向けて組織的かつ継続的に取り組むことを目的とする学修・教育開発センターが発足した。（規程を添付）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

委員会は委員長招集によって行われ、委員の過半数の出席をもって成立することとしている。（令和4年度実績11回、委員36名）

c 委員会の審議事項等

- ・学科・科のFDに関する事項
- ・事務職員の能力および資質の向上をはかるための組織的研修等SDIに関する事項
- ・学生の主体的な学修支援に関する事項
- ・IRに関する事項
- ・全学的な連携と調整に関する事項
- ・その他、学修や教育の改善のために必要と判断される事項

② 実施状況

a 実施内容

教育改善に向けた取り組みを多角的な面から以下の通り行っている。（令和4年度実績。令和5年度も同等に計画）

- ①教育改善推進経費予算による研究・開発シリーズ：本学の教育をさらに充実・向上させるために教育方法や教材の研究・開発に対して必要な費用全般を学長が補助する制度を用いた研究の成果を発表するもの。
- ②教職員研究会：FD、SDIに係わる取り組みをテーマに定め、学内教職員全体に向け、7月に基調講演、9月にワークショップを開催する。
- ③近年の大学政策に関する講習会
- ④ハラスメントに関する講習会
- ⑤リサーチウィークス：教職員間の情報共有を目的とし、FDに関するフォーラムや教職員によるポスターセッションなどの種々の催しを約2週間の期間中に行う。
- ⑥授業開発（オンライン授業含む）に関する講習会
- ⑦教学マネジメント、内部質保証に関わる講習会
- ⑧障害の理解と対応に関する講習会

b 実施方法

学内の教職員を対象に参加者を募り実施している。講師は学内教職員が務めるか、または外部から講師を招いている。いずれの内容もグループワークやディスカッションを多く取り入れるなどし、参加者の理解度を深めるものとなっている。また、②教職員研究会では7月の基調講演時に教職員別に事前課題を出し、9月のワークショップまでに課題に取り組む方法をとっている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

各研修の参加履歴は以下の通り。年間を通じて教員のFD/SD参加率はそれぞれ100%となっている。

①質保証に係るFD

- 5/26 「アセスメントプラン策定」と「教学マネジメント」の情報整理（60名）
- 7/28 効能や効果、改善のアクションを見据えたデータ分析の事例について（41名）
- 7/28～8/1 GPS-Academic結果報告（135名）
- 1/10 学科独自のアセスメントプラン活用に向けて
～高等教育を取り巻く論点・他大学の課題意識から改善の見直しを持った可視化を学ぶ～（45名）

②教職員研究会（SD/FD）

- 7/21 第1部 東京家政大学の中長期計画の実質化に向けて一現実を踏まえた計画の立案・推進一（253名）
- 9/6 第2部（理事の部）大学設置基準と私立学校法の改正について（8名）
～ 第2部（教員の部）学科内におけるアセスメント策定に向けた取り組み（251名）

③教育改革推進（学長裁量）経費予算による研究・開発

- 8/29 COVID-19パンデミックを契機とした実習教育改革（32名）
- 11/7 施設実習におけるルーブリックの開発（18名）
- 1/27 自律的学習者を育てるプログラムの開発（39名）
- 2/22 教育改革推進（学長裁量）経費予算による研究・開発の報告（オンデマンド視聴234回）

④リサーチウィークス

- 2/15 オープニングレクチャー『令和4年度「GOOD授業賞」表彰授業の担当教員によるレクチャー』（60名）
- 2/16 ヒューマンライフ支援課機構「生活科学研究所・女性未来研究所 共催研究プロジェクト」成果発表会（100名）
- 2/17 FDフォーラム「アセスメントプランにおけるアセスメント科目・ルーブリックの使い方」（63名）
- 2/21 教員研究成果発表会（66名）
- 2/24 ハラスメント防止研修（52名）

⑤学修・教育開発センターと部署共催による研修

- 2/18 不登校の現状と包括的支援（66名）
- 3/3 協同学習における評価とその実際（31名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・上記研修を教員の都合に合ったタイミングで視聴ができ、さらに見返すことも可能となるよう、開催形式を対面の他オンライン・オンデマンドも活用し、授業改善の一助とした。
・アセスメントプランやルーブリック等、教員が作成を進める必要があるものについては、上記研修動画の他、作成手引きや作成様式をwebサイトに掲載し、作成の一助とした。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

全科目を対象に、授業アンケートを実施している。アンケートは、各授業の終了時期に1度実施するものとし、1期終了時期の5月下旬、2期と前期終了時期の7月下旬、3期終了時期の10月下旬、4期と後期終了時期の1月を主な実施時期としている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生によるアンケートへの回答は集計され授業担当者に戻される。平成30年度より、個々の授業アンケート結果は認証の必要なホームページを通じて学生に公開する。学科単位での種々の集計結果は教授会等の電子資料として教員に公開されるほか、ホームページを通じて広く公開する。また、授業を担当する教員全員に、アンケート結果を踏まえて「学生」を読み手とした教員コメントの入力を求め、アンケート結果とともに学生に認証の必要なホームページを通じて公表している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を達成するために、1年目である令和5年度において、以下の点について、特に重点的に取り組んでいくことが重要であるとの認識を有している。

(1) カリキュラムの体系と教育実習や介護等体験、インターンシップ等の実習との関わりを明確化するために、カリキュラムチェックリストの点検を継続的に行っていくことが重要である。

(2) 目的学科としてのキャリア育成の重要性を鑑み、地域連携の機会を推進し、インターンシップ（就業体験）の拡充を図っていくことを推進していく。

(3) 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うために、各授業での予習・復習の課題を実効性のあるものにしていくとともに、ICT活用の推進として、BYOD を活用した授業実践を拡大していく。

(4) 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価するために、特に「卒業論文」のルーブリック評価のあり方について検討していく。また、組織的にアセスメント科目の評価と教育活動の関連について検討し、各教員が、学生の学習成果の把握と評価に対する改善意識を持つように学科内FD活動を実施していく。

(5) 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行い、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行うために、令和4年度から取り組んだ全学年での「達成度試験」の結果の分析をもとに、教育課程の改善について検討していく。

(6) 幼児教育との連携を深めるため、大学内幼児教育関連3施設の教職員と児童学科・初等教育学科教員との共同研究を進めていく。

(7) リカレント教育の充実のために、社会人に対する「学び直し」プログラムの企画について検討していく。

(8) 卒業生との関わりが少ないので、卒業生ネットワークの構築を目指し、在学生のキャリア支援や生涯学習につながるため、令和4年度卒業生について簡単な調査を実施するとともに、卒業生が母校を訪れる機会を準備していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年度開設のため、児童学部を含む大学全体の自己点検・評価は令和6年度に実施・公表する。

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和6年度予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和6年に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で準備中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学修・教育開発センター規程

（目的）

第1条 この規程は東京家政大学学則第78条の7並びに東京家政大学短期大学部学則第75条に基づき、学修・教育開発センター（以下「開発センター」という。）の組織及び運営について必要な事項を定めることを目的とする。

（設置目的）

第2条 開発センターは、本学並びに短期大学部（以下「本学」という。）学生の学修の充実・向上に資するべく、学部・学科・科及び学内諸部署と協働し、全学の教育活動の改善に向けて組織的かつ継続的に取り組むことを目的とする。

（業務）

第3条 開発センターは前条の設置目的を達成するため、次の各号の業務を行う。

- （1）教員、学科・科及び学内諸部署による教育改善活動、及び教職員の研修や交流の企画・立案に関すること。
- （2）教員、学科・科及び学内諸部署による教育改善活動の支援に関すること。
- （3）学生の主体的な学修の支援に関すること。
- （4）学修及び教育にかかわる環境の開発、整備、運用並びにその環境を活用した学修・教育活動の支援に関すること。
- （5）教育の質的向上に向けた学修及び教育にかかわる調査研究の企画、実施に関すること。
- （6）学修及び教育にかかわるデータの収集、分析、報告に関すること。
- （7）本学の教育目標の達成度、学修成果の評価に関すること。
- （8）前6号の分析、報告に基づく学修及び教育にかかわる提案に関すること。
- （9）その他、学修や教育の改善のために必要と判断されたこと。

（部門）

第4条 前条の業務を円滑に進めるため、開発センターに次の各号の部門をおく。

- （1）前条第1号から第4号までのファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）、スタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）及び学修開発の業務を行う部門。この部門をFD・学修開発部門と呼ぶ。
- （2）前条第5号から第8号までのインスティテューショナル・リサーチ（以下「IR」という。）の業務を行う部門。この部門をIR部門と呼ぶ。

（組織）

第5条 開発センターに所長をおく。

- （1）所長は本学の教授又は准教授から学長の指名により任命する。
- （2）所長は開発センターの業務を統括し、開発センターを代表する。
- （3）所長の任期は就任のときから3年とする。ただし、再任を妨げない。

2 開発センターに副所長をおくことができる。

- （1）副所長は本学の教授又は准教授から学長の指名により任命する。
- （2）副所長は所長を補佐する。
- （3）副所長の任期は就任のときから3年とする。ただし、再任を妨げない。

3 開発センターに参事若干名をおく。

- （1）参事は本学の教授又は准教授から学長の指名により任命する。

(2) 参事は所長を補佐し、開発センターの行う業務について専門的助言を行い、業務を遂行する。

(3) 参事の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

4 開発センターに専門委員若干名をおくことができる。

(1) 専門委員は参事を補佐するため開発センターの行う業務に応じ、専門分野の教員から所長が委嘱する。

(2) 専門委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

(事務課)

第6条 開発センターの事務を処理するために事務課をおく。

(1) 事務課にFD・学修開発部門及びIR部門各々の担当事務職員若干名をおく。

(2) 事務職員は所長の指示により当該事務を処理する。

(委員会の設置)

第7条 開発センターの円滑な運営及び重要な事項を審議するため、学修・教育開発委員会（以下「委員会」という。）を設ける。

2 前項の委員会に小委員会をおくことができる。

(委員会の構成)

第8条 委員会は、次の各号の委員をもって構成する。

(1) 開発センター所長、副所長、参事、専門委員

(2) 共通教育推進部長、課長

(3) 教職センター所長、課長

(4) 図書館長、課長

(5) 教育支援センター所長、事務部長

(6) 学生支援センター所長、事務部長

(7) 狭山学務部長、事務部長

(8) アドミッションセンター所長、事務部長

(9) 総務部長、総務部人事課長

(10) 各学科・科の教員により選出された委員

(11) その他必要に応じ、委員会の議を経て委員に加えることができるものとする

(委員の任期)

第9条 前条の第9号に掲げる委員会の委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員会の運営)

第10条 委員会には、委員長及び副委員長をおくものとする。

2 委員長は、開発センター所長とする。

3 副委員長は委員長が指名し、委員会の承認を得るものとする。

4 委員会の招集は、委員長が行う

5 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。

6 議決は、出席委員の過半数の同意を得なければならない。

7 委員長は、必要に応じて委員会の委員以外の教職員及び学外有識者等に委員会への出席を求め、意見を聞くことができる。

(委員会の審議事項)

第11条 委員会は、次の事項を審議する。

(1) 学科・科のFDに関する事項

- (2) 事務職員の能力及び資質の向上をはかるための組織的な研修等SDに関する事項
- (3) 学生の主体的な学修支援に関する事項
- (4) IRに関する事項
- (5) 全学的な連携と調整に関する事項
- (6) その他、委員長が必要と認めた事項

(委員会の報告)

第12条 委員会は、決定事項を教授会に報告するほか、必要事項をそれぞれの学内諸部署に通知する。

(委員会の事務)

第13条 委員会の事務は、開発センターにおいて行う。

(規程の改廃)

第14条 この規程の改廃は、委員会の議を経て教授会の審議を経た後、学長の承認を得なければならない。

附則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附則

この改正された規程は、平成28年8月5日から施行する。

附則

この改正された規程は、平成31年4月1日から施行する。

附則

この改正された規程は、令和4年12月21日から施行し、令和4年10月1日より適用とする。